

みなさま

このたび、同封のご案内のように、オンライン講座「大田俊寛『一神教全史（上下）』を読む」を開催する運びとなりました。

これまで、日本キリスト教会神学校の講師として、「教会史」の講座のオンライン配信等を行って参りました。教派や宗派の枠を越えて広く用いられているフスト・ゴンザレス『キリスト教史』（原題は「キリスト教の物語」）を用いながら、いわゆる「勝利史観」、「WASP+M」（白人・アングロサクソン・プロテスタント+男）を越えた視点から、豊かな学びと気づきを与えられて参りました。

しかし、今般のガザ、ウクライナ、香港、ミャンマー等の状況を覚えるとき、より広く、キリスト教の枠を越え、とりわけキリスト教の内側からの視点ではなく外側からの視点から「教会」、「キリスト教世界」、「キリスト教国」の歴史を学ぶ必要を覚えた次第です。

テキストとしては、大田俊寛『一神教全史（上・下）』（河出新書、2023年）を用いることにいたしました。私自身、宗教学・宗教史は専門外で、本書を学問的に評価する立場ではありませんが、本書が、大学の基礎科目として行われた「宗教学概説」講義をもとにしたものであること、また著者自身が（とりわけイスラムについては）「数年前から勉強を始めたばかりであり、十分にこれを理解しているとは到底言えません」（上241頁）との謙虚な姿勢で語ろうとしている姿勢に好感が持てたこと、また本書を手にしたのが、3.11の被災地を巡る旅の中でふと立ち寄った相馬市の書店であったことに不思議な縁（導き）を感じて、これをテキストとして用いることにしました。

講座（というよりは読書会ですが）は7月7日（日）午後8時から（補講は9日〔火〕午前10時から）の開始となります。初回はオリエンテーション（ご挨拶と自己紹介〔希望者のみ〕）ですので、実際にテキストを読み始めるのは14日（16日）となります。レコーディングもいたしますので、どうぞ今からでも参加のお申し込みをいただければ嬉しいです。

ご一緒に学べますのを楽しみにいたしております。

芳賀繁浩

オンライン講座「大田俊寛『一神教全史(上下)』を読む」のご案内

このたび、標記のようなオンライン講座を行う運びとなりました。

今回は、キリスト教の歴史を外側から見る試みとして、また、今日の世界を理解するために欠くことのできないユダヤ教、イスラム教の基本を学ぶ機会として、宗教学者である大田俊寛さんの『一神教全史(上)(下)』(河出新書、2023)を一緒に読みたいと思います。

「宗教とは、共同体を作り上げるために必要とされる『フィクション』である」という視点からのかなり刺激的な本ですが、その分、特定の立場に肩入れすることなく、それぞれの宗教をフラットに論述しようとしている点から、多くの示唆を受けることができるかと思えます。

プログラムとしては、講師によるリーディングレポートを30分から45分、参加者との質疑応答とディスカッションを15分から30分、全体で1時間程度のプログラムを考えております。

どなたでも参加していただけます。関心のある方がおられましたらご案内いただければ幸いです。

- ・講座名 「大田俊寛『一神教全史(上)(下)』(河出新書、2023年)を読む」
- ・講師 芳賀繁浩〔はが しげひろ：日本キリスト教会福島南教会(福島伝道所)牧師、日本キリスト教会神学校講師(歴史神学)、一般社団法人日本アルベルグ協会理事) 東北大学法学部卒、東北大学大学院法学研究科博士課程前期修了、日本キリスト教会神学校卒、著書：『ツァーとカルヴァン—信仰問答を手がかりとして(大森講座XI)』、『なぜ「秘密法」に反対か：開かれた平和な国のために祈りつつ(新教コイノーニア28)』(共著)、訳書：J.モルトマン『人への奉仕と神の国』(共訳)、エルシー・アン・マッキー『執事職—改革派の伝統と現代のディアコニア』(共訳)
- ・開講期間 2024年7月から2025年3月まで(予定)
- ・開講時間 毎週日曜日午後8時~9時(本講座)、毎週火曜日午前10時~11時(補講) 本講座と補講の内容は同じです。(まったく同じにはならないかもしれません)。講師の都合で本講座もしくは補講のどちらかあるいは双方ともに休講となる場合があります。リーディングレポートの部分は録画の視聴も可能です。
- ・開講方式 オンライン開催(Zoomを使用)
- ・対象 パーソナルコンピュータやタブレット等でZoom接続が可能な方(どなたでも)
- ・聴講料 ドネーション〔無料、可能な方は自由な献金をお捧げいただければ幸いです。献金は全額、講師が理事を務める「一般社団法人 日本アルベルグ協会」(<https://www.albergue.or.jp/>)に送らせていただきます。〕〔郵便振替を利用される方は、「02290-8-136273 特定非営利活動法人 被災支援ネットワーク・東北ヘルプ」までお願いします(「日本アルベルグ協会のため」とご記載ください) なお、他の方法を希望される方はお問い合わせください。〕
- ・申込方法 以下の項目を、haga927s@gmail.comまでお知らせください。
〔受領のメールをお送りいたします。送信後2~3日経っても届かない場合には、電話090-7728-2365(芳賀)までご連絡ください。〕
 - ・お名前とご所属(〇〇教会等、だいたいで結構です。なくてもかまいません。)
 - ・本人メールアドレス

2024年6月

芳賀 繁浩

(連絡先) 〒171-0044 東京都豊島区千早3-37-1 TEL 090-7728-2365

※ 参考までに、大田俊寛『一神教全史(上)(下)』による著者紹介および目次を掲載いたします。

大田 俊寛 (おおた としひろ)

1974年、福岡県生まれ。宗教学者・思想史研究者。博士(文学)。埼玉大学非常勤講師。キリスト教を中心とする宗教思想史を研究するほか、オウム真理教問題を含む現代宗教論も手がける。昨今はリベラル・アーツの内実に関する再考を重ねている。著書に『グノーシス主義の思想』『オウム真理教の精神史』(春秋社)『昨今は現代オカルトの根源』(ちくま新書)など。

著書

『グノーシス主義の思想：〈父〉というフィクション』(春秋社、2009年、新装版2023年)
『オウム真理教の精神史：ロマン主義・全体主義・原理主義』(春秋社、2011年、増補版2023年)
『現代オカルトの根源 - 霊性進化論の光と闇』筑摩書房〈ちくま新書〉、2013年
『宗教学：ブックガイドシリーズ 基本の30冊』(人文書院、2015年)

論文

「グノーシス模倣の神話学」(博士論文) 東京大学 2007年

共著

『死刑囚監房から』(年報・死刑廃止2015) インパクト出版会 2015/10

上巻【目次】

- 第1講 インTRODクシヨン —— 宗教思想史の正当な理解を求めて
- 第2講 ユダヤ教の歴史① —— 原初の遊牧生活からダビデ王の治世まで
- 第3講 ユダヤ教の歴史② —— 王国の発展からバビロン捕囚まで
- 第4講 キリスト教の発端 —— イエスの福音とパウロの教会論
- 第5講 キリスト教とローマ帝国の関係 —— エウセビオスの政治神学、アウグスティヌスの神国論
- 第6講 西ヨーロッパのキリスト教化 —— 教皇制と修道制の形成、カール大帝の宗教政策
- 第7講 イスラム教の歴史① —— ムハンマドの生涯と思想
- 第8講 イスラム教の歴史② —— イスラム帝国の形成
- 第9講 中世ヨーロッパにおける教皇主権の理念 —— 神聖ローマ帝国の成立から十字軍まで

下巻【目次】

- 第10講 スコラ学の発展 —— 十二世紀ルネサンスからトマス・アクィナスまで
- 第11講 宗教改革の時代 —— イタリア・ルネサンスの人文主義からドイツ三十年戦争まで
- 第12講 近代的な国家主権論の形成 —— ピューリタン革命の動乱、社会契約論の提唱
- 第13講 アメリカ合衆国の宗教状況 —— 新大陸発見から福音派台頭まで
- 第14講 ナチズムの世界観 —— アーリア人種優越論と反ユダヤ主義
- 第15講 イスラエル再建とイスラム主義興隆 —— ユダヤ人問題の歴史、現代の中東情勢